



介全集」8、12

姉崎嘲風

寿永の秋 明治38・9 「太陽」

(評論)時代の告白としての叙事詩 昭和7・2 『日本文学編纂』収

編纂』収

(戯曲)脚本滝口入道 明治39・4 春陽堂【高山樗牛「滝口入道」の戯曲化】

口入道」の戯曲化】

阿部匡広

敦盛、魔界に舞う 平成9・12 鳥影社

安部宗男

平家最後の日―義経の自害―平成2・9 宝文社

阿部龍太郎

天馬翔ける 平成16・12 新潮社(上・下)

新井英生

頼朝と政子 昭和54・ 桃園書房

嵐山光三郎

西行と清盛 平成4・4 集英社 平成11・11 学陽書房人物文庫

文庫

安西篤子

壇の浦残花抄 昭和57・6 「歴史読本」 平成1・6 読売新聞社

聞社 平成1・10 集英社文庫 平成7・12 集英社文庫 平成8・5 埼玉福祉会(大活字)

成8・5 埼玉福祉会(大活字)

義経の母 昭和61・10 読売新聞社

袈裟と盛遠 昭和55・9 「季刊歴史と文学」

安野光雄

(評論)絵本平家物語 平成8・3 講談社

伊井圭

仮面の義経―迦羅楼羅の面に秘められた謎―平成16・11

イーグルバブリシング

生田長江

(評論)国民的叙事詩としての平家物語 明治39・3〜5「帝國文学」

国文学」

飯野山治

たそがれ法師の物語・平家物語誕生異聞 昭和56・11 作品

社【大夫房覚明】

池田大伍

(戯曲)滝口入道 大正9・3 「演芸画報」 昭和6・4 「明治大正文学全集」49 春陽堂

池宮彰一郎

平家 平成13・4・25〜平成15・2・28 日本経済新聞

池宮彰一郎

成14・11(上)、15・4(中)、15・6(下) 角川書店

成16・11、12 角川文庫(4冊)

成16・11、12 角川文庫(4冊)

以倉絃平

(詩歌)朝霧に架かる橋 平成12・12 編集工房ノア

井沢元彦

義経幻殺録 昭和62・12 講談社 平成17・6 角川文庫

石川淳

おとしばなし清盛 昭和36・6 筑摩書房

井上靖

兵鼓 昭和34・1〜35・2 「小説新潮」 昭和52・5 文芸春秋社

井上靖

春秋社 昭和57・6 文春文庫【義仲】

井上靖

後白河院 昭和39・10〜40・11 「展望」 昭和47・6 筑摩書房

井上靖

書房 平成8・8 「井上靖全集」16

井伏鱒二

さざなみ軍記 昭和13・4 河出書房 昭和13・4、平成9・2

井伏鱒二

「井伏鱒二全集」2 筑摩書房

岩野泡鳴

(評論)叙事詩としての平家物語 明治43・11 「文章世界」

巖谷小波

源三位 明治29 「少年世界」第2巻2、3号 明治30・1 「日本お伽話」4 博文館(昭和50・11 臨川書店、複製)

巖谷小波

武蔵坊 明治30・5 「日本お伽話」 博文館(昭和50・11 臨川書店、複製)

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

臨川書店、複製

- 本お伽話」24博文館（昭和50・11臨川書店、複製）
- 宇野信夫  
（戯曲）小督 昭和35・11「宇野信夫戯曲選集」5青蛙房
- 内田康夫  
平家伝説殺人事件 昭和58・5広済堂出版 昭和60・6角川文庫 平成8・5角川春樹事務所
- 榎本破笠  
（戯曲）平重衡 明治39・6「文芸倶楽部」
- 江見水蔭  
（戯曲）石橋山 明治24・10「読売新聞」  
（戯曲）旭將軍 明治27・11・12「読売新聞」  
（戯曲）濡標佐々木盛綱 明治27・8文芸共進会
- 大平智也  
沙羅双樹・平家姫君達の鎮魂歌・平家最期の勇将平知盛の妻治部卿局の生涯をめぐって 平成10・10新風社
- 岡本綺堂  
（戯曲）石橋山 大正3・10「演芸画報」  
（戯曲）頼豪阿闍梨 大正6・10上演  
（戯曲）佐々木高綱 大正3・1「演芸画報」 大正6・5「綺堂脚本十種」平和出版社 昭和33・9「岡本綺堂戯曲集」4青蛙房
- （戯曲）熊谷出陣 大正12・3「演芸画報」 昭和34・7「岡本綺堂戯曲集」2青蛙房
- （戯曲）箴の梅 大正14・8「綺堂戯曲集」8春陽堂 【梶原景季】  
（戯曲）平家蟹 明治45・4 大正3・10「演芸倶楽部」 大正6・5「綺堂脚本十種」平和出版社 昭和33・9「岡本綺堂戯曲集」4青蛙房
- 修善寺物語 光文社時代小説文庫
- 長部日出雄  
昭和57・2学習研究社 平成2・11富士見書房時代小説文庫
- 大仏次郎  
（評論）義経の周囲 昭和41・11朝日新聞社
- 小山内薫  
（戯曲）盛遠 大正15・4「演劇新潮」（二部） 昭和2・7「劇と評論」（二部） 昭和50・2「小山内薫全集」3臨川書店  
（戯曲）俊寛 明治44・1「新小説」 大正11・4「現代戯曲大観」新潮社 昭和50・2「小山内薫全集」3臨川書店
- 【か】
- 海音寺潮五郎  
武將列伝2・3 昭和43・12、35・7文芸春秋社 昭和45・6「海音寺潮五郎全集」16朝日新聞社 昭和35・6「オール読物」に連載の内
- 寛六笹見  
こぼれ華・平維盛 平成10・1ゆめいろ出版
- 上司小剣  
源頼朝 昭和18・9・19・5「日本産業経済新聞」
- 亀井勝一郎  
中世の生死と宗教観 昭和39・3 文芸春秋新社
- 唐木順三  
熊谷直実入道 昭和48・4「歴史と人物」
- 川尻宝岑・依田百川（戯曲）文覚上人勸進帳 明治21・9金港堂 昭和41・11「明治文学全集」85筑摩書房
- 河竹黙阿弥  
（戯曲）大仏供養 明治6・11上演 大正15・9「黙阿弥全集」春陽堂
- （戯曲）牡丹平家譚 明治9・5上演 大正15・2「黙阿弥全集」1春陽堂

(戯曲) 義仲と百人芸 明治9・6上演

(戯曲) 碁盤忠信 明治18・2上演 大正14・2「黙阿弥全集」

17春陽堂

(戯曲) 髪染の実盛 明治18・11上演

(戯曲) 船弁慶 明治18・11上演 大正15・4「黙阿弥全集」

20春陽堂

菊池寛

石橋山 大正13・6「苦楽」 大正14・4「菊池寛戯曲全集」

3春陽堂 平成5・11「菊池寛全集」 1高松市菊池寛記念館

館

源義経 昭和10・11「オール読物」昭和11・1「日本武将譚」

黎明社 平成7・2「菊池寛全集」 17高松市菊池寛記念館

木曾義仲 昭和10・6「オール読物」 昭和11・1「日本武将譚」

黎明社 平成7・2「菊池寛全集」 17高松市菊池寛記念館

寛記念館

袈裟の良人 大正12・11金星堂 平成5・11「菊池寛全集」

1高松市菊池寛記念館

俊寛 大正10・10「改造」 大正10・12「俊寛」新潮社

平成6・1「菊池寛全集」 3高松市菊池寛記念館

木下順二

子午線の祀り昭和53・1「文芸」 昭和54・2河出書房新社

日本ドラマ論序説 昭和41・6「展望」

平家物語による群読・知盛 昭和45・6風濤社

楠田敏郎

遠藤武者の悲恋 大正14・1「獵人」

邦光史郎

幻の旗 昭和47・3・55・3「季刊歴史と文学」昭和55・

10、11「源九郎義経」(改題) 平凡社(上・下) 昭和61・

3徳間文庫 平成16・8学陽書房人物文庫(上・下)

倉田百三

(戯曲) 俊寛 大正7・3「白樺」(第一幕) 大正8・11「新小説」(第二・三幕) 大正9・6「歌はぬ人」岩波書店 平成6・7「倉田百三全集」9日本図書センター

夢鏡(ゆめのすがたみ)・義高と大姫の物語 平成3・10

倉本由布

集英社コバルト文庫

雪の系譜・竹御所・鞠子 平成4・4集英社コバルト文庫

海に眠る・義高と大姫 平成4・10集英社コバルト文庫

千の夢を見る・義高転生幻想記 平成5・10集英社コバルト文庫

ルト文庫

華焰・義経の妻 平成5・12集英社コバルト文庫

月の夜船で・平家ものがたり抄 平成6・12集英社コバルト文庫

ト文庫

人魚の家・平家物語 平成11・6・7集英社コバルト文庫

小泉八雲

耳なし芳一のはなし 明治37・4「怪談」ボストン&ニュー

ヨーク、ホートン・ミフリン社 昭和6・1「小泉八雲全集」7第一書房 平成2・6「怪談・奇談」講談社学術

文庫

幸田露伴

(評論) 頼朝 明治41・9東亜堂書房 昭和25・4「露伴全集」16岩波書店

(評論) 為朝 大正15・2 昭和25・4「露伴全集」16岩波書店

波書店

- 頼朝・為朝 大正15・4 改造社  
 義経 昭和40・6 「文学者」  
 小堺昭三  
 伊豆の頼朝 明治44・9・45・7 「報知新聞」 大正1・  
 11 東亜堂書房 昭和55・5 「日本現代文学全集」 31 講談社  
 腰越状 大正11・3 「中央公論」 昭和16・1 「小説仕入帳」  
 中央公論社  
 後藤明生  
 「滝口入道」 異聞 昭和63・6 「群像」 平成1・2 「首塚  
 の上のアドバルーン」 講談社 平成11・10 講談社文庫  
 平家之首 昭和63・9 「群像」 平成1・2 「首塚の上のア  
 ドバルーン」 講談社 平成11・10 講談社文庫  
 (評論) 平家物語 昭和17・7 「文学界」 昭和21・2 「無  
 常といふこと」 創元社 平成13・10 「小林秀雄全集」 7  
 朝日將軍始末 昭和54・6・9 「季刊歴史と文学」  
 (詩歌) 平家物語女人鈔・小柳素子歌集平成12・3 ながら  
 み書房  
 今東光  
 弱法師 昭和33・1 筑摩書房 【大夫房覚明】  
 武蔵坊弁慶 昭和52・11・53・2 学習研究社 (1・3)  
 昭和60・10、11 徳間文庫 (1・4)  
 僧兵 昭和10・1 政経書院  
 酒神敬  
 世になし者たちの祝祭・畠山重忠と曾我兄弟 平成14・5  
 文芸社  
 坂口安吾  
 (評論) 源頼朝 昭和27・7 「オール読物」 昭和30・7 「安  
 吾史譚」 春歩堂 昭和47・2 「坂口安吾評論全集」 5 冬樹  
 社 昭和50・1 「定本坂口安吾全集」 冬樹社  
 源頼朝 昭和61・12 読売新聞社 平成3・11 講談社文庫  
 尼將軍北条政子 平成3・8・12 角川書店 (1・4) 平成  
 5・10、11 角川文庫 (加筆訂正)  
 九郎判官 大正1・9 同文館1  
 掬水譚・法然上人別伝 昭和10・6・9 「東京日日新聞」  
 昭和11・1 大東出版社 平成10・12 「定本佐藤春夫全集」  
 9 臨川書店  
 極楽から来た 昭和35・6・12 「朝日新聞」 昭和36・2 講  
 談社 平成12・10 「定本佐藤春夫全集」 17 臨川書店 【法然】  
 流離の海・私本平家物語 平成4・6 新潮社 (上・下) 平  
 成12・8 中公文庫 【有王】  
 塩川治子  
 旭のぼる・木曾義仲の生涯 平成9・12 河出書房新社  
 義経 昭和41・2・43・4 「オール読物」 (原題「九郎判  
 官義経」) 昭和43・5 文芸春秋社 昭和46・12 「司馬遼太  
 郎全集」 21 文芸春秋社  
 島村抱月  
 (戯曲) 平清盛 明治44・1 「早稲田文学」 大正2・5 「影  
 と影」 植竹書院  
 (戯曲) 清盛と仏御前 大正3・1 「早稲田文学」 大正5・2  
 斎藤栄  
 殺人平家物語・タロット日美子シリーズ 平成7・11 光文  
 社 平成10・11 光文社文庫

「真人間・清盛と仏御前」新潮社 昭和54・9 「抱月全集」  
6 日本図書センター 【「平清盛」の改作】

清水邦夫

(戯曲) わが魂は輝く水なり・源平北越流誌 昭和55・2  
「群像」 昭和55・2 講談社 平成4・6 「清水邦夫全仕事」  
1958～1980下 河出書房新社 【齋藤実盛】

志茂田景樹

大逆説―義経が翔(ゆ)く・義経頼朝最後の決戦編 平成  
3・11 光文社

白井喬二

源平盛衰記 大正15・10～昭和4・2 「時事新報」  
(評論) 平家物語紀行 昭和48・11、12 平凡社(上・下)

白洲正子

平成10・10 「謡曲平家物語」(改題) 講談社文芸文庫

杉本秀太郎

(評論) 平家物語  
瀬戸内晴海 祇園女御 昭和42・4～5 中部日本・西日本・北海道新  
聞 昭和43・10 講談社 昭和63・2 「日本歴史文学館」  
3 講談社

瀬戸内晴海

昭和63・2 「日本歴史文学館」

3 講談社

(評論) 平家物語 昭和52・1～54・2 「ミセス」

## 【た】

高木彬

成吉思汗の秘密 昭和33 光文社  
(評論) 平家の人々 明治45・5 岡村盛花堂

高須梅溪

霊鬼頼朝 平成16・10 文芸春秋

高安月郊

(戯曲) 重盛 明治29・9 私家版 昭和41・11 「明治文  
学全集」85 筑摩書房

(戯曲) 嵯峨野の露 明治39・9 「ねざめ草」金尾文淵堂

高山樗牛

(評論) 平相国 明治35・1 文武道 平成6・10 「樗牛全集」  
3 日本図書センター

滝口入道 明治27・4～5 「読売新聞」 明治28・9 春陽

堂 「樗牛全集」6 日本図書センター

(評論) 平家雑感 明治34・4 「太陽」 平成6・10 「樗牛  
全集」3 日本図書センター

田嶋淳

(戯曲) 俊寛 明治43・10 「劇と評論」 大正11・4 「現代  
戯曲大観」新潮社

谷恒生

陰陽道・転生・安倍清明・義経伝説 平成12・8 徳間文庫  
那須与一 平成4・12 河出書房新社(上・下) 平成7・

10 河出文庫(上・下)

田山花袋

源頼朝 大正13・18 「名古屋新聞」 平成6・3 「定本花  
袋全集」12 臨川書店

通盛の妻 大正14・1～12 「婦人之友」 平成6・3 「定本  
花袋全集」12 臨川書店

木曾義仲 昭和27・6 「山陽新聞」 昭和30・4(上・下)

壇一雄

筑摩書房

遅塚麗水

佐渡の文覚 明治35・1 「文芸倶楽部」 昭和56・4 「根  
岸派文学集」筑摩書房

塚原洪柿園

巴御前 明治36・1 「女鑑」  
零下四十一度の義経伝説 平成7・9 光文社文庫

辻真先

残夢 平成14・5 郁文社  
朝日將軍木曾義仲 平成11・6 信毎書籍出版センター

恒川詩帆

鶴見憲明

刀田八九朗 重衡 昭和11・8 「文学界」  
 富田常雄 弓 昭和32・11 「オール読物」 平成4・3 「歴史小説名作館2もののふの譜」 講談社【那須与一】

熊谷次郎 昭和36・4 新潮社

巴御前 昭和29・10 大日本雄弁会講談社（上・中・下）

弁慶 昭和26・8～30・4 「東京新聞」 昭和60・12～

61・3 「武蔵坊弁慶」(改題) (1～10) 講談社 61・4～

8 講談社文庫

豊田孝次 義経、世界制覇の夢 平成17・5 新潮社

【な】

直木三十五 源九郎義経 昭和8・4・6・10 「直木三十五全集」 1・2・4

改造社 平成3・7 「直木三十五全集」 9 示人社

永井荷風 (戯曲) 平維盛 明治43・9 「三田文学」 大正10・7 「三

柏葉樹頭夜風」 春陽堂 平成4・10 「荷風全集」 7 岩波書

店

永井路子 頼朝の死 昭和46・12 「小説サンデー毎日」 昭和48・2 「ば

くちしてこそ歩くなれ」 読売新聞社 昭和53・12 「右京局

小夜がたり」 読売新聞社 昭和60・1 「寂光院残照」(「右

京局小夜がたり」(改題) 集英社文庫

緑蘿の牆・寂光院残照 昭和44・9 「小説女性」 昭和

53・12 「右京局小夜がたり」 読売新聞社 昭和60・1 「寂

光院残照」(「右京局小夜がたり」(改題) 集英社文庫

波のかたみ・清盛の妻 昭和59・8～60・12 「婦人公論」  
 平成1・2 中公文庫 平成7・4 「永井路子歴史小説全集」  
 7 中央公論社

7 中央公論社

后ふたたび 昭和48・5 「小説現代」 昭和53・12 「右京局

小夜がたり」 読売新聞社 昭和60・1 「寂光院残照」(「右

京局小夜がたり」(改題) 集英社文庫 平成7・4 「永井路

子歴史小説全集」 7 中央公論社 【藤原多子】

北条政子 昭和44・2 講談社 平成2・3 文春文庫 平成

7・6 「永井路子歴史小説全集」 9 中央公論社

炎環 昭和39・10 光風社書店 昭和53・10 文春文庫 平成

7・5 「永井路子歴史小説全集」 8 中央公論社 【政子・全

成・阿波局】

右京局小夜がたり 昭和52・9 「太陽」 昭和53・12 「右

京局小夜がたり」 読売新聞社 昭和60・1 「寂光院残照」

集英社文庫 平成7・4 「永井路子歴史小説全集」 7 中央

公論社

(評論) 平家物語の女性たち 昭和47・7 新塔社 昭和

53・2 文春文庫

土佐房昌俊 昭和50・夏号 「小説歴史」 昭和53・12 「右

京局小夜がたり」 読売新聞社 昭和60・1 「寂光院残照」

集英社文庫

昭和60・5 青樹社 平成10・3 学陽書房人物文庫

永岡慶之助 文覚 大正1・11～2・3 「都新聞」 昭和46・9 「中里介

中里介山

永岡慶之助

山全集」14筑摩書房

永田衡吉

(戯曲) 煩惱無安 大正13・6 「中央公論」 対象4・5 「厩戸皇子」四紅社 (戯曲) 最後の人々 大正15・7 「新小説」 昭和11・4 「平泉記」 河出書房

初恋の影 大正15・11 「新小説」

(戯曲) 平泉記 昭和11・4 河出書房

(戯曲) 平維盛 大正14・5 『厩戸皇子』四紅社

長田秀雄  
(戯曲) 袈裟の魂 大正13・3 「中央公論」 大正13・5 「黒幕」

中津文彦  
消えた義経 平成6・12 P H P 研究所 平成8・10 P H P 文庫

平家慕情 平成11・10 実業之日本社

闇の弁慶 平成2・6 祥伝社 平成6・10 祥伝社ノン・

ポシェット文庫

「義経伝説」空白の殺人 平成5・6 双葉社 平成8・4 双

葉文庫

義経の征旗 平成16・8 光文社(上・下)

最後の御大将 平重衡 平成17・1 P H P 研究所

中野実  
木曾義仲 昭和7・2 「舞台」

中山義秀  
寿永の春 昭和29・4 和光社 昭和53・5 「筑摩現代文学

大系」55筑摩書房 【義仲】

木曾川物語 昭和29・4 5 「中部日本新聞」昭和31・3

池田書店

長与善郎

(戯曲) 頼朝 大正9・9 「新小説」 大正10・10 「現代戯曲全集」8 国民図書 大正13・3 「韓信の死」玄文社

名村烈

源義経妖艶伝・平安夜伽草子 平成17・3、4、6(3冊)イーグルバブリシング

南條範夫

義仲の最後 平成13・3 小説新潮 平成13・5 「代表作時代小説・平成13年度」光風社出版

野上弥生子

(戯曲) 藤戸 大正9・1 「改造」 昭和1・4 「人間改造」岩波書店 平成10・7 「野上弥生子全小説」15 岩波書店

野口達二

(戯曲) 静御前 平成1・6 「野口達二戯曲選」演劇出版社

【は】

橋本治

義経伝説 平成3・8 川出書房新社  
双調平家物語 平成10・10 13・9 中央公論社(1 8)

秦恒平

清経入水 昭和44・8 角川書店 昭和51・12 「筑摩現代文学大系」93

(評論) 中世と中世人 昭和53・6 平凡社

風の奏で 昭和54・5、6 「季刊歴史と文学」(初出題は「平家擬記」) 昭和55・3 文芸春秋社 平成3・6・7 「湖の本」

18・19 私家版

(評論) 女文化の終焉 昭和48・5 美術出版社

(評論) 能の平家物語 平成11・11 東京朝日ソノラマ

小説平家 昭和42・5 講談社 【大夫房覚明】

花田清輝

早瀬詠一郎  
櫻・平家物語 平成16 P H P 研究所



- |        |   |   |   |
|--------|---|---|---|
| 半村良    | 平家伝説 昭和49・8「別冊小説宝石盛夏特別号」昭和49・9角川文庫 平成10・1角川春樹事務所ハルキ文庫<br>(原題「嘆き鳥」SF小説)  | 松井松翁<br>松永義弘<br>松本彰男<br>松本徹   | (戯曲) 袈裟と盛遠 明治41・1隆文館<br>北条政子 平静2・10富士見書房時代小説文庫<br>新釈平家物語 平成14・4集英社(上・下)<br>敦盛 平成2・7「海燕」平成3・9「袈裟の首」福武書店<br>袈裟の首 平成2・2「海燕」平成3・9「袈裟の首」福武書店 |
| 姫野カオルコ | 正調・H物語 平成6・1「短編集H(エッチ)」徳間書店<br>平成9・6「H(アッシュ)」徳間文庫   | 木曾義伸 平成5・9光文社 平成9・9光文社<br>巴御前 平成1・11、2・1、3光文社時代小説文庫(1~3)<br>(戯曲) 清盛と西光 昭和6・10「講談倶楽部」昭和50・10「真山青果全集」2講談社 | 武書店   |
| 広山義慶   | 平家物語殺人事件 昭和59・4祥伝社 平成4・10祥伝社<br>ノン・ポシエット文庫  | 松本利昭  | 木曾義伸 平成5・9光文社 平成9・9光文社<br>巴御前 平成1・11、2・1、3光文社時代小説文庫(1~3)<br>(戯曲) 清盛と西光 昭和6・10「講談倶楽部」昭和50・10「真山青果全集」2講談社                                 |
| 福地桜痴   | 木曾最期 明治35・1「日出国新聞」<br>(戯曲) 扇の的 明治35・1「日出国新聞」【那須与一】<br>(戯曲) 小督 明治24・11「小督・高野物狂」金港堂<br>(戯曲) 橋供養 明治24・11金港堂 【袈裟】 | 真山青果  | 10「真山青果全集」2講談社  |
| 藤野古白   | (戯曲) 人柱築島由来 明治28・1~3「早稲田文学」明<br>治30・5「古白遺稿」非売品  | 三田誠広<br>三好京三  | 頼朝の死 昭和7・2「講談倶楽部」昭和50・10「真山青果全集」2講談社<br>清盛 平成12・12集英社<br>生きよ義経 平成2・5新潮社 平成7・6「源義経―東下りに秘められた謎」(改題) PHP文庫                                 |
| 舟橋聖一   | (戯曲) 滝口入道の恋 昭和21・2上演<br>(戯曲) 千手と頼朝と 昭和23・4上演  | 宮尾登美子   | 宮尾本平家物語 平成11・11~15・12「週刊朝日」平成13・6~16・4朝日新聞社(1~4) 平成18・4~7朝日文庫(4冊)   |
| 船山馨    | 頼朝の死 昭和30・2「小説新潮」昭和39・5「落日の門」河出書房新社 昭和51・1「船山馨全集」河出書房新社   | 義経 平成16・11日本放送出版協会<br>平家物語の女たち 平成16・12朝日新聞社   |   |
| 北条秀司   | (戯曲) 北条政子 昭和48・1「北条秀司戯曲選集」青蛙社<br>蒲桜爛漫・頼朝の弟・義経の兄・源範頼 平成11・4秋田書店  | 武者小路実篤  | (戯曲) 仏御前 大正2・11「白樺」昭和2・11「現代日本文学全集」26(改題「清盛と仏御前」) 改造社   |
| 堀和久    | もののふの大地―義経と川越一族―平成4・8新人物往来社   |   |   |

村上元三 平清盛 昭和45・2 学習研究社 平成5・6 徳間文庫

重衡と仁通 昭和53・2 「大法輪」 平成7・11 「村上元

三短編館」毎日新聞社

源義経 昭和26・10・27・12 29・6・30・6 東京・大阪「朝

日新聞」夕刊 昭和27・11・42・1(1)・(7) 朝日新

聞社

義経の首 昭和56・9 「大法輪」

村松駿吉 源義経 昭和45・8 春陽堂

室生犀星 影清伝 昭和16・9 「王朝」実業之日本社 昭和60・5 「室

生犀星全王朝物語」上 作品社

森鷗外 (戯曲) 静 明治42・11 「昂」 大正1・8 「我一幕物」 初

山書店 昭和47・3 「鷗外全集」 5 岩波書店

森下与作 (戯曲) 蓮生坊の脱走 大正13・4 「苦楽」 【熊谷直実】

森田草平 (戯曲) 袈裟御前 大正2・4 「中央公論」 昭和5・6 「現

代日本文学全集」 42 改造社

森村誠一 平家物語 平成6・2・8・6 小学館 (1・6) 平成12・

10・12 小学館文庫 (1・3)

山崎正和

後白河法皇 昭和41・11 「潮」

(戯曲) 野望と夏草 昭和45・3 「中央公論」 昭和45・3

保田与重郎 (評論) 木曾冠者 昭和13・10 「コギト」 昭和14・9 「改

定にほんの橋」 昭和46・10 「保田与重郎全集」 講談社

(評論) 平家物語 昭和17・3 「文芸」

柳田国男 (評論) 有王と俊寛僧都 昭和15・1 「文学」 昭和21・10

山田智彦

義経の刺客 平成4・1 文芸春秋社 (上・下)

7 筑摩書房

山岡荘八

頼朝勘定 昭和30・11 「別冊講談倶楽部」 昭和45・10 「柳

生の金魚」 東京文芸社 昭和59・1 「山岡荘八全集」 36 講談

社 平成2・9 「人物日本史・古代戦国」 新潮文庫

源頼朝 昭和32・6 (1)、33・5 (2)、35・4 (3) 桃

源社

源社 昭和53・9 講談社 昭和59・2 「山岡荘八全集」 講

談社 史劇十種 大正3・9 啓成社

(戯曲) 平相国 大正3・11 「文芸倶楽部」

(戯曲) 勢平家物語 大正9・3 上演

(戯曲) 清盛と西光 大正9・4 「新演芸」

(戯曲) ひよどり越 大正2・11 「演芸画報」

(戯曲) 義経北国落 大正11・2 天業民報社

(戯曲) 祇王祇女 大正6・7 平和出版社

(戯曲) 静御前 明治42・10 「演芸画報」

後白河法皇 昭和41・11 「潮」

河出書房新社

(評論) 平清盛論 明治40・4 「中央公論」

(評論) 源頼朝 明治42・7 玄黄社 昭和62・12 平凡社・

東洋文庫

【や】

山田美妙

木曾義仲 平成11・4 日本放送出版協会(上・下)

与謝野鉄幹 源九郎義経 明治36・1:4:5 「明星」

四郎高綱 明治39・6 「文芸倶楽部」平成12・1 「山田美妙歴史小説復刻選」(以下「復刻選」) 5 本の友社

吉井勇 (戯曲) 髑髏尼 大正2:10 「演芸倶楽部」昭和6:4 「明治大正文学全集」49 春陽堂 【平重衡の愛妾】

平清盛 明治43・12 千代田書房 昭和19・5 聖紀書房

吉川英治 源頼朝 昭和15・1~10 「朝日新聞」昭和40:12 (上)、41:3 (下)

平重衡 明治41・8~12 「やまと新聞」明治43・6 今古堂 平成12・1 「復刻選」7

静御前 昭和15・5 「主婦之友」朝日新聞社 昭和57:11 「吉川英治全集」28 講談社

二郎経高 明治41:1:10 「文芸倶楽部」平成12・1 「復刻選」7

新平家物語 昭和25・4~32:3 「週間朝日」昭和26:6~50:2 朝日新聞社(1~23) 昭和42:8~43:1 「吉川英治全集」33~38

三郎盛綱 明治42・1 「信濃毎日」平成12・1 「復刻選」7

随筆新平家紀行 昭和33・6 朝日新聞社 昭和44:5 「吉川英治文学全集」46 講談社

太郎定綱 明治44:1 「文芸倶楽部」平成12・1 「復刻選」8

吉田十駕 風譚義経 平成13・1 文芸春秋社

小宰相局 明治42・5 「新小説」明治34・12 「美妙集」春陽堂 平成12・1 「復刻選」7

吉屋信子 女人平家 昭和45:7~46:10 「週間朝日」昭和46:3、9 朝日新聞社(上・下) 昭和50:4 「吉屋信子全集」朝日新聞社

白拍子祇王 昭和9・4 立命館大学出版部 平成12:1 「復刻選」8

依田百川・川尻宝岑 (戯曲) 文覚上人勸進帳 明治21・9 金港堂 昭和41:11 「明治文学全集」85 筑摩書房

胡蝶 明治22・1 「国民之友」附録 昭和14・9 岩波文庫

〔ら・わ〕

山村美紗 平家伝説殺人ツアー 平成4・7 講談社 平成7・7 講談社

領家高子 九郎判官 平成13・2 講談社

山本有三

(戯曲) 熊谷蓮生坊 大正13・6 「改造」大正13:11 「同士の人々」新潮社 昭和51:10 「山本有三全集」2 新潮社

和辻哲郎 (戯曲) 常盤 明治43:9 「新思潮」